

布哇海戰実見談を聴く（松口月城）

ひの丸の飛機山を越えて来たる

こうか矢の如く互いに魁を競う

見るべし機腹巨弾を抱き

煙筒を投入して去つて転回

霹靂海を破り艨艟覆る

水柱天に冲して響き雷に似たり

真珠湾上硝煙漲り

にちべいの大戦此の日に開く

日丸飛機越山來

降下如矢互競魁
可見機腹抱巨弾
投入煙筒去転回

霹靂破海艨艟覆

水柱冲天響似雷
真珠湾上硝煙漲

日米大戦此日開

解説　日米大戦のハワイ攻撃の実見談を聞いての作。

語釈　※降下＝高い位置から下へさがること。※魁＝他に先んじること。

※巨弾＝大きな爆弾。※煙筒＝発煙筒。※霹靂＝大きな音の響きわたること。
また、そのさま。※艨艟＝軍艦。※覆＝ひっくりかえる。転覆。※硝煙＝火薬の発火によつて生じる煙。

通釈　日本の飛行機が山を越えてハワイに飛来。真珠湾に向けて急降下は矢のようだ。飛行機は互いに魁を競つた。日本の飛行機の胴体には、大きな爆弾が備えており、煙筒、そして爆弾を投入して転回していく。おおきな音が海に響き渡り、軍艦をも覆つた。投下されて爆弾の音は雷の様に、水柱は空高く上がり、真珠湾は硝煙があふれるほど勢いが盛んになつた。この日から日米の大戦が始まつたのだ。